

北海道

KITAMI 10.17 北見

MURORAN 10.23 室蘭

SAPPORO 10.30 札幌

防災・減災リレーシンポジウム

—冬の防災・危機管理を考える—

冬の北海道では、暴風雪による交通障害の他、地震・津波や火山災害等の被害拡大も懸念されます。

住民の暮らしや経済活動の安全を確保するため、大学・行政・マスメディアが連携し、

地域の特性に合った防災・減災対策と啓発活動を進めることが欠かせません。

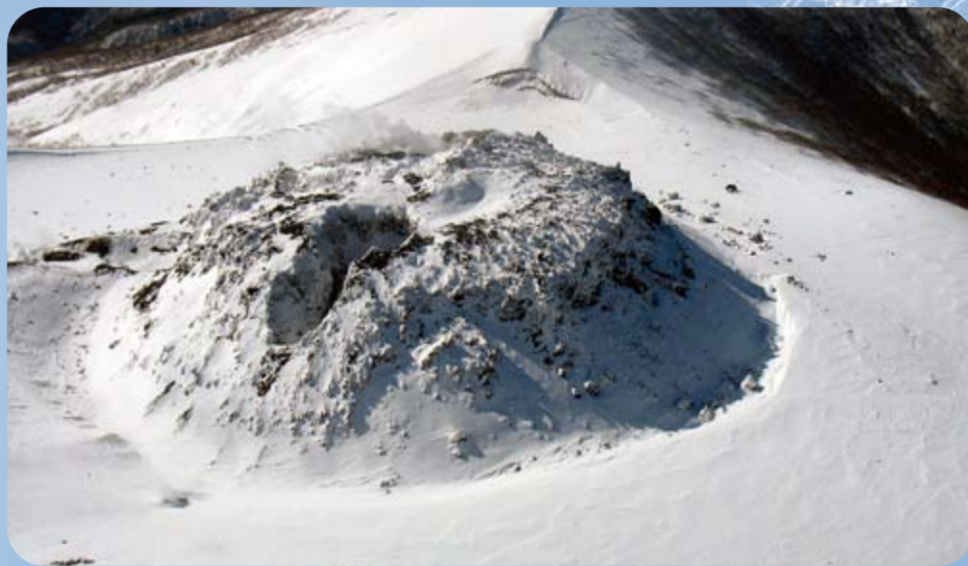
本企画は、北見・室蘭・札幌を結ぶリレー方式のシンポジウムにより、多面的な討論を行います。

また、10月28日～10月30日には北海道大学学術交流会館1Fホールにて、

災害対応に関するパネル展(入場無料)も開催します。ぜひお立ち寄りください。



2004年豪雪



冬の樽前山火山口(写真撮影:気象庁(北海道開発局協力))



十勝沖地震津波(1952)で打ち上げられた流水(写真提供:浜中町役場)

プログラムA(北見会場) KITAMI

定員 100名 入場無料 ※事前にお申込みください。

日時: 2014年10月17日(金) 13:00開場 13:30開会

場所: 北見工業大学 多目的講義室 北見市公園町165番地

地域防災の観点から高橋教授、防災気象情報について岸管理官、災害時における地方自治体の役割について原田教授が講演を行います。パネルディスカッションでは、行政機関の方々の参加も得て、各分野の最前線の取り組みを紹介するとともに、企業や住民の方々にも参考となるよう情報や知見を交換しあい、今後の防災対策に関する議論を深めていきます。

参加申込み・問い合わせ

FAXまたはE-mailで、参加者氏名(ふりがな)・所属・連絡先(FAX、E-mail)をご連絡ください。10月10日(金)締切。北見工業大学研究協力課 TEL:0157-26-9151 FAX:0157-26-9155 E-mail:kenkyu55@desk.kitami-it.ac.jp

■基調講演

- 1.「寒冷地における地域防災力向上のために」
北見工業大学 社会環境工学科 教授 高橋 清
- 2.「冬の気象と防災気象情報 —暴風雪災害から学ぶ—」
網走地方気象台 観測予報管理官 岸 隆幸
- 3.「災害時における地方自治体の役割について」
北海道大学 公共政策大学院 教授 原田賢一郎

■パネルディスカッション

パネリスト	北見工業大学	社会環境工学科 教授	高橋 清
	北海道大学	公共政策大学院 教授	原田賢一郎
コーディネーター	網走地方気象台	観測予報管理官	岸 隆幸
	北海道開発局	網走開発建設部 次長	太田 広
コーディネーター	北海道	オホーツク総合振興局 副局長	本多 弘幸
	中標津町	総務部総務課 防災係長	徳永 博之
コーディネーター	北海道大学	公共政策大学院 特任教授	高松 泰

プログラムB(室蘭会場) MURORAN

定員 100名 入場無料 ※事前にお申込みください。

日時: 2014年10月23日(木) 13:00開場 13:30開会
場所: 室蘭市蓬峯殿(ほうらいでん) 室蘭市宮の森町1-1

■基調講演

- 1.「冬の津波に備える」
室蘭工業大学 大学院工学研究科 教授 木村 克俊
- 2.「大規模土砂災害と危機管理」
北海道大学 大学院農学研究院 特任教授 南 哲行

〈問い合わせ〉 室蘭工業大学地域共同研究開発センター TEL:0143-46-5860

プログラムC(札幌会場) SAPPORO

定員 300名 入場無料 ※事前にお申込みください。

日時: 2014年10月30日(金) 13:00開場 13:30開会
場所: 北海道大学 学術交流会館 大講堂 札幌市北区北8条西5丁目

■基調講演

- 1.「日本海側の地震と津波に備える」
北海道大学 大学院理学研究院 教授 谷岡勇市郎
- 2.「北海道を活かす ～減災文化を育成する積雪寒冷気象～」
北海道大学 大学院工学研究院 教授 岡田 成幸
- 3.「気象業務はいま ～守ります人と自然とこの地球～」
一般財団法人気象業務支援センター 理事長(前気象庁長官) 羽鳥 光彦

〈問い合わせ〉 北海道大学公共政策大学院・院長室 TEL:011-706-4723

